

もし、病害虫がいてしまったら・・・

こまめな観察、早期発見が大切。みつけたら広がる前に対処しましょう！

病害虫	灰色かび病	うどんこ病	アブラムシ類	ハダニ類
症状	葉の緑が黒くなったり、花が褐色になる。シミのような斑。	葉や茎が小麦粉をふりかけたようになる。	黒褐色のものもいるが、ほとんどは黄緑色。密集して葉や茎につく。	葉裏につく。葉に針先でつついたような白い小斑点ができる。
予防	日当たりや風通しよく管理する事が大切！			
対処	症状が出た葉はちぎって処分し、様子を見る。	セロハンテープで取りのぞく。	葉の裏側まで勢いよく水をかけ、洗い流す。	

自然素材で害虫対策！「クスノキ木酢エキス」
 ★使い方と効果
 ・300～500倍に水で薄め、霧吹きで葉茎に散布 → 殺虫・忌避効果
 ・1000～2000倍に水で薄め、月1～2回水の代わりにまく → 土壌病害減
 ★つくりかた
 クスノキの葉100gを細かくしたものを、1か月間、2Lの酢につけて抽出しま



Q & A

❖ 葉が内側から枯れてきました。どうしたらよいですか。
 摘芯を繰り返すと、脇芽が伸びてボリュームある株に育てることができる一方、脇芽が伸びすぎて葉が多くなると、蒸れにより内側から腐ってしまうことがあります。ある程度ボリュームがでてきたら、葉を減らす剪定を行い、風通しを確保しましょう。

❖ 追肥は必要ですか？
 コスモスはやせ地を好むため、基本的には元肥で十分です。ただし、鉢植えの場合は、土の量が地植えよりも少ないぶん、栄養不足に陥ってしまうこともあります。なんとなく茎がひよろひよろして頼りない、花や葉の発色が悪い、花つきが悪いといった症状が見られたら、追肥をしてあげてもよいです。リン酸・カリ分の多い緩効性肥料をあげましょう。

❖ 花が咲かない！
 コスモスは、茎の頂点（頂芽）で日光を感知し、つぼみをつけます。ある程度生長したら摘芯は控えましょう。夏咲きなら7月以降、秋咲きなら9月以降の摘芯は控えた方がよいです。また、コスモスは短日植物なので、夜に光が当てられてしまうと、花を咲かせないこともありますので、注意しましょう。

コスモスの育て方

はじめに・・・コスモスの好きな環境を知ろう！

コスモスは、「日当たり」「風通し」「水はけ」のよい場所が大好き。少しくらい土の様態が悪くても元気に育つ丈夫な草花ですが、過湿は苦手です。粘土質であったり、一日中日が当たらないようなジメジメした場所は避けましょう。



寒さは苦手

種まきのタイミング

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	種まき	種まき	種まき	種まき	開花時期	開花時期	開花時期	開花時期

- ❖ 種まき～開花まで約2～3か月。咲かせたい時期から逆算して種まきしましょう。
- ❖ 晩生品種の種まきは、8月以降のほうがよいです（早すぎると草丈ばかり伸びてしまう）。
- ❖ 時期をずらしてまけば長期間花が楽しめます。

STEP1 土づくりをしよう！

❖ 育て方に合わせた土づくり



① 土がこぼれないよう、鉢底石を敷きます。

② 用土を入れて、混ぜます。

排水ネットに入れて使うと土と混ざらず再利用しやすい！

水もち・肥料もちUP

花が増える

リン酸を含む緩効性肥料 少々

微生物の力で、土がふかふかに。通気性もアップ。

水はけと適度な水もちを兼ね備えた、バランスのよい用土。

赤玉土(小粒) 5

腐葉土 3

バーミキュライト 2

※例として、20Lのプランターの場合、赤玉土(小粒) 10L・腐葉土6L・バーミキュライト4Lになります。

※市販の草花用培養土でもOK!そのまま使えます。

※緩効性肥料は、袋に記載の量の半分程度の量を混ぜ込みます。

※例として、20Lのプランターの場合、赤玉土(小粒) 10L・腐葉土6L・バーミキュライト4Lになります。

※市販の草花用培養土でもOK!そのまま使えます。

※緩効性肥料は、袋に記載の量の半分程度の量を混ぜ込みます。

花壇・地植え

- ① 小石や古い根や雑草を、丁寧に取り除きます。
- ② 土をひっくり返すイメージで、30cm程度の深さまで耕します。
- ③ 苦土石灰を混ぜ込み、1週間寝かせます。
- ④ 腐葉土を混ぜ込み、さらに1週間寝かせます。



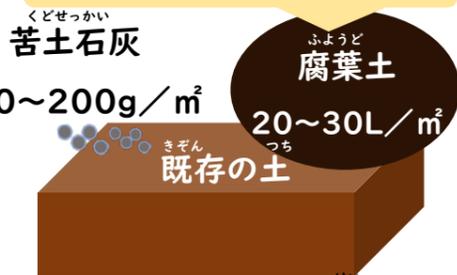
「よい土」のチェックポイント

- シャベルが楽にサクッと土に入る
- 雨が降ってもサッと水がはける
- 土そのものがある程度湿度を保てる

★配合用土の効果と量

日本の土壌は酸性寄り。中和のために混ぜます。

通気性UP。土がふかふかに。



※水はけが悪い場合は、パーライト(3~5mm径)や川砂も混ぜ混みましよう。

STEP2 タネをまこう!

タネまきの手順

- ① 一指し指を軽く土にのせ、浅く穴をあける。(深さ2~3mm。土に少し跡が残る程度)
- ② あけた穴1箇所につき種を3~4粒まく。小さくて軽いので、飛ばないように注意!
- ③ ごく薄く(2~3mm)土をかぶせる。
- ④ 優しく水をかける。

8月以降にまく場合は、大きくならないので、株間を10~15cm間隔程度に詰めて植えると、花が密に咲きます。

タネまきのポイント

種が動かないよう、水は優しく、たっぷり。コスモスは光を好むタネなので、土はごく薄くかぶせる



20~30cm間隔
プランターの場合は10~20cm間隔

※プランターは、事前に土を湿らしてからタネをまくと活着率アップ!

STEP3 新芽を育てて花を咲かせよう!

花が咲くまでのお手入れ「間引き」

新芽同士の栄養競争を防ぐため、葉が触れ合う程度の株間を保つイメージで、密集した芽のうち元気な芽を残し、それ以外の芽は抜き取ります。双葉か、本葉2~3枚の頃がタイミング。生育状況で、何回かにわけて行っても◎。

双葉のあとに出てくるのが本葉

密集してる部分から生長が早いもの、太いものを選んで1本にします



「摘芯」

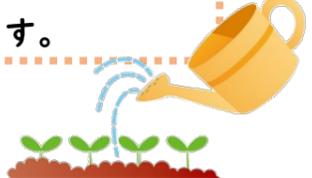
本葉が6~8枚になったら、先端をピンチします。横への生長が促進され、ボリュームのある株に育ちます。ただし、花芽ができる夏以降は避けましよう。



丸い花芽が見えたらピンチは×

「水やり」

発芽から2週間は、乾燥させないように注意します。



本葉が生えてからは、プランターの場合は、乾燥に注意! 表土が白っぽくなっていたり、葉先がしおれていたら水不足のサイン。地植えは、基本的には降雨任せでOK。夏場何日も雨が降らず、カラカラに乾いている時のみあげましよう。

常に土が湿った状態は×。メリハリのある水やりが大切。

STEP5 コスモスを長く楽しもう!

たくさん咲かせるためのお手入れ「花がらつみ」

終わった花をこまめに摘むことで、つぼみに栄養がいき、長く花を楽しめます。咲き終わったり枯れた花は、早めに摘みます。

花びらが散り始めたり変色したら、摘み取るタイミング!

花茎ごと剪定バサミでカット!



花がらがなくなると、つぼみに栄養がいくようになる!

「タネの採取」にトライ!

タネをとっておけば、来年も楽しむことができます。

タネを取るタイミング 見極め方

- 花が枯れ落ちて、縦長の種が黒くなっている
- 花を支えている首部分の色が退色している
- 手で触ると種が落ちる

※種が飛んでいってしまう前に採取すべし! ※湿気で腐ってしまわないよう、晴れた日に取るべし!



柿の種を小さくしたような形で、細長くて固いのが、コスモスのタネ!

タネがとれたら...

- ① 風のない暗い場所で、乾燥させます。
- ② 乾燥したら、タネの周りに殻やゴミ等ついていない場合は取り除きます。
- ③ カビがはえないよう、封筒等に入れて、保管します。涼しくて日が当たらない、湿気の少ない場所で保管ましよう。

